

第35回（平成30年度）

山崎賞授賞式

日時 平成31年2月16日(土)

午後1時30分

場所 静岡県職員会館
(もくせい会館)

公益財団法人 山崎自然科学教育振興会

アドレス <http://yamazakizaidan.com>

式 次 第

1. 開 式
2. あ い さ つ 代表理事 熊 野 善 介
3. 選考経過報告 選考委員長
県立浜松湖東高等学校長
鈴 木 真 人
4. 授 賞 児童・生徒の部
学 校 の 部
教 員 の 部
5. 来 賓 祝 辞 県教育委員会
教 育 長 木 苗 直 秀
6. 受 賞 の 喜 び ◎ 何色の光をあてると植物はよく成長するか?
静岡大学教育学部附属静岡小学校 6年
柳 田 純 佳
7. 研 究 発 表 ◎ メダカの観察 Part6
静岡大学教育学部附属島田中学校 2年
神 谷 未 来 斗
◎ 1円玉を浮かべる表面張力の働き
県立科学技術高等学校 2年
竹 澤 凌 生
米 倉 大 貴
8. 閉 式

ご あ い さ つ

本日ここに、第35回山崎賞授賞式を盛大に挙げて下さることを心より感謝申し上げますとともに、受賞された方々に心よりお祝い申し上げます。

本振興会を設立した山崎貞一氏は、「私の夢は静岡県からノーベル賞受賞者を輩出することです」と常々言っておられました。

この夢を実現するために、未来を担う県下の青少年の「科学の芽」を育てることを目的として、昭和58年の設立以来、自然科学分野の研究への助成事業、研究成果への顕彰事業、および科学教室や講師派遣、講演会・研修会支援などの啓発事業の三事業を実施しております。

平成30年12月に、本庶^{ほんじょ}佑^{たすく}京都大学特別教授がノーベル医学生理学賞を受賞されました。実は静岡県立大学設置・運営に深くかかわっていただき、静岡県と深いご縁があります。本庶先生が子供たちに向けておっしゃったことは、「知りたいと思うこと」、「不思議だなと思う心を大切にすること」、「常に疑いをもって、本当はどうなっているのだろうかと思うこと」そして、「自分の目でものを見たり、納得するまで諦^{あきら}めないこと」でした。これらを皆さんが研究するとき、ゆっくり^か噛みしめてください。

さて、本年度の顕彰事業としての山崎賞には、県下の小学校、中学校、高等学校等から167件のご応募をいただきました。応募いただいた研究はそれぞれすばらしい研究でしたが、選考委員による慎重な選考の結果、本年度は児童・生徒の部65件、学校の部2件、教員の部5件を顕彰することにいたしました。

これらの研究は、長期間にわたる地道な努力を積み重ねた成果によるものが多く、さらなる努力により科学の発展に寄与することが大いに期待されるものでした。

結びに、児童・生徒の研究を熱心にご指導いただきました先生方、並びに保護者の方々、日ごろ熱心に自然科学教育に取り組んでおられる学校、そして先生方、さらには、厳正で適切な選考をしていただいた本振興会選考委員の方々をはじめ、ご支援、ご協力いただきました多くの方々にお礼申し上げ、ごあいさつといたします。

平成31年2月16日

公益財団法人 山崎自然科学教育振興会

代表理事 熊野善介

第35回山崎賞授賞者名簿

児童・生徒の部

(1) 小学校(20件)

番号	研究主題	学校名	学年	氏名	指導者
1	何色の光をあてると植物はよく成長するか？	静岡大学教育学部附属静岡小学校	6	柳田 純佳	野崎 祐宏
2	カイコガの適温は何度？	静岡大学教育学部附属静岡小学校	6	出口 由	野崎 祐宏
3	身近な水をきれいにしよう	静岡大学教育学部附属静岡小学校	6	中津山日彩	杉本 傳
4	大発見！より長く回るコマ パート3	浜松市立瑞穂小学校	6	森本 朔矢	大川 博
5	アサガオのつるがまきつく太さは？	浜松市立北浜南小学校	4	花井百合奈	堀 玲子
6	昔からの作法や知恵を科学的に探る	浜松市立芳川小学校	5	池野 杏香	藤沼 保博
7	食べ物の味覚を調べる	浜松市立北浜北小学校	6	桂 春乃	酒井 哲生
8	どろだんごの研究③ ～ピカピカで強くなるのか？～	浜松市立内野小学校	6	中村 楼沙	藤田 直也
9	紙飛行機に空力翼艇をつけて飛ばしたい！	磐田市立磐田北小学校	5	小林 英治	村松 茂
10	かさぶくろロケットの研究	静岡市立葵小学校	3	吉村 悠希	森 延江
11	かいこ6 (プロテインを餌に混ぜてみよう)	袋井市立三川小学校	6	小松 巧実	平野 敏彦
12	ぼくの家に夜集まる虫 昭和と平成の比較	牧之原市立川崎小学校	4	飯田 瑞季	久保田 翔
13	坂口谷川の研究Ⅳ	牧之原市立坂部小学校	6	松本 大生	服部 貴文
14	うずらをたまごから、育ててみよう！	沼津市立愛鷹小学校	4	勝亦 奏心	古屋 徳恵
15	歯と酸について	沼津市立今沢小学校	6	木村 隆晴	渡部 陽
16	ストップ・ザ・暑い夏 ～水は大地のエアコンだ～	藤枝市立高洲南小学校	6	杉本恭太郎	犬塚 直人
17	光と植物の関係	静岡市立西豊田小学校	4	瀧 昌宏	増田 俊彦
18	河原の石ころの秘密を探る	静岡市立富士見小学校	5	高津 圭梧	佐藤 俊子
19	セミの羽化の条件をさぐるⅢ	焼津市立東益津小学校	5	平形 正樹	鈴木 豊
20	トカゲの尾の再生は種類によって違うのか	焼津市立東益津小学校	6	前田 恒晴	鈴木 豊

(2) 中 学 校(15件)

番号	研 究 主 題	学 校 名	学年	氏 名	指 導 者
1	直下率の研究 Part2 ～熊本地震から学ぶ～	磐田市立神明中学校	3	倉田 兼佑	間測 彰浩
2	レーザー光をやわらかく折り曲げる 研究 その5	浜松市立三ヶ日中学校	1	堀川 日瑚	太田 弘紀
3	さなぎの色はどうなんだ!? ～パート5～	浜松市立佐鳴台中学校	1	宮本 龍治	上田 高之
4	津波体験キットをつくろう。 パート2	浜松市立神久呂中学校	2	山本賢一朗	山口 健三
5	風通しの研究	沼津市立第四中学校	1	岡澤 美愛	小林 吉男
6	オオカナダモと土を使って界面 活性剤を浄化	沼津市立第三中学校	2	川村 莉緒	中田 雅己
7	光がテントウムシに与える影響	静岡市立清水第三中学校	3	宮崎 紗帆	疋田 竜二
8	朝顔を人工的に「一日顔」にする 方法Ⅵ	静岡市立清水第八中学校	2	飯塚 颯	榎守 伸昭
9	たすく昆虫記 パート6	川根本町立中川根中学校	2	西澤 翼	松浦 泰彦
10	アズマヒキガエルの成長記録	袋井市立袋井中学校	3	出口 華江	栗原 祥
11	ニホンミツバチの研究 パート4	磐田市立城山中学校	2	宮崎 天花	佐野 公彦
12	ぶどうの研究Ⅵ ～5年間の研究をふまえて～	牧之原市立榛原中学校	3	松本 光生	名波 宏基
13	アリの生態 パートⅥ	磐田市立竜洋中学校	2	相馬 海人	大庭 学
14	色々な液体の性質（備長炭発電・ 浸透圧発電）パートⅥ	磐田市立竜洋中学校	3	堀尾 菜奈	金子 裕史
15	メダカの観察 Part 6	静岡大学教育学部附属 島田中学校	2	神谷未来斗	川口 貴則

(3) 高等学校(30件)

番号	研究主題	学校名	学年	氏名	指導者
1	濃度勾配を持つショ糖溶液の旋光度と屈折率	県立清水東高等学校	2	山梨 怜央 ほか11名	鳴海 晶
2	ルミノール反応の触媒活性について	県立清水東高等学校	2	細野 恵大 石田 誉人	京田 慎一
3	アルマイト作成条件と着色の変化	県立清水東高等学校	2	森下周一郎 恵 慎太郎	京田 慎一
4	濃淡電池の電圧の挙動について	県立清水東高等学校	2	清水 開 宮田 将希	京田 慎一
5	布の防食性について	県立清水東高等学校	3	大木 俊輔 ほか5名	京田 慎一
6	芝生からネンジュモを撃退するⅢ	県立掛川東高等学校	2	近江 陽向 ほか6名	立石 紀子
7	薬物がジョロウグモの糸に及ぼす影響	県立富士高等学校	2	仙名 大輝 ほか5名	前林 千裕
8	風力発電における羽根による発電効率の変化	県立沼津西高等学校	2	檜木 大介 ほか3名	原 謙一
9	中部更新統上部谷下層の化石シカの種同定2	県立浜松北高等学校	2	夏目 紘路 ほか2名	岡安 秀夫
10	ヤマトシジミによる佐鳴湖浄化の研究 第三報	県立浜松北高等学校	2	石田野々花 ほか5名	岡安 秀夫
11	ビオトープ内の昆虫相の変化と他環境との相異	静岡サレジオ高等学校	2	望月 駿	伊藤 正美
12	サンマ寿司はなぜ塩・酢・砂糖に漬けるか	県立下田高等学校	2	鈴木 大遥 ほか2名	吉田 亮祐
13	海産赤色色素の薄層クロマトグラフィー	県立下田高等学校	2	白井 貴哉 ほか3名	吉田 亮祐
14	ホトケドジョウの生息環境と保護について	県立御殿場南高等学校	1	市瀬 拓泉 ほか5名	樋口ゆり子
15	形態異常ヒドラの観察	日本大学三島高等学校	3	中西 海友 ほか2名	秋山 容子
16	カエルの見る世界を知る	県立静岡農業高等学校	2	宮崎 結衣	乗松 朋代
17	1円玉を浮かべる表面張力の働き	県立科学技術高等学校	2	竹澤 凌生 米倉 大貴	谷口裕美枝
18	オカダンゴムシの光・湿度・塩分濃度嗜好性	浜松市立高等学校	2	池谷穂乃歌 佐藤 瑞起	矢頭 勇
19	ダンゴムシの能力について	県立浜松湖東高等学校	2	大石 健介 近藤 寛飛	太田 京子
20	ミミズの研究 第2報	県立浜松湖東高等学校	2	須山 楽斗 ほか2名	太田 京子
21	回転円筒体の飛行	県立三島北高等学校	2 1	工藤 幹太 佐藤 王海	山梨 陸
22	組織透明化による「ミミズの消化速度研究」	県立富岳館高等学校	3	田中 彩菜 ほか3名	嶋田 龍彦
23	PNIPAAmゲルを用いたゲル法	県立富岳館高等学校	3	立花 咲結 ほか2名	大川 翔平
24	魚の群れ行動の研究	県立富士宮東高等学校	3	藤田 早耶 ほか2名	小林 設郎
25	吸収スペクトルでの透明化ダンゴムシの検証	静岡市立高等学校	2	佐藤なつみ ほか3名	杉村 正道
26	環境DNAによるゲンジボタルの種の特定	県立掛川西高等学校	2	杉山 寛晃 ほか2名	松下 保男
27	空中DNAを使った鳥類調査法の確立	県立掛川西高等学校	2	岡本 優真 塚本 颯	松下 保男
28	モリアオガエルの産卵地調査と室内実験	県立静岡高等学校	2	竹内 希海	稲垣 聖二
29	静岡市内七河川の準絶滅危惧種ミクリの調査	県立静岡高等学校	2	加藤陽奈多 ほか7名	稲垣 聖二
30	イーストの発酵実験～グルコース濃度と温度～	県立浜松城北工業高等学校	2	池野谷玲斗 ほか6名	中村 雅俊

学校の部 (2件)

小学校

番号	研究主題	学校名	校長氏名	代表者
1	小学校プログラミング教育はじめの一步	静岡市立麻機小学校	瀧戸真弘	中村直哲

高等学校

番号	研究主題	学校名	校長氏名	代表者
1	西豆の地域性を活かした理科教育活動の推進	県立松崎高等学校	寺島明彦	富川友秀

教員の部 (5件)

小学校

番号	研究主題	学校名	職名	氏名	校長氏名
1	実感を伴った理解に繋ぐSTEM授業モデル	浜松市立西都台小学校	教諭	伊藤啓太	鈴木聖慈
2	新設単元における自作教材の開発とその活用	浜松市立浅間小学校	教諭	辻村恵一	安間康

高等学校

番号	研究主題	学校名	職名	氏名	校長氏名
1	学習指導要領改訂に伴う菌根菌の教材研究	県立田方農業高等学校	教諭	渡邊幸伸	大塚忠雄
2	歴史地震による津波の教材化と防災教育	県立磐田南高等学校	教諭	青島晃 他2名	赤塚顕宏
3	化学教育におけるミニプロジェクトの開発	県立富岳館高等学校	教諭	大川翔平	松下勝也

第35回山崎賞

応募件数 及び 授賞件数

(1) 応募件数

区 分	小 学 校	中 学 校	高等学校	計
児童・生徒	4 8	3 5	7 2	1 5 5
学 校	1	1	2	4
教 員	2	0	6	8
計	5 1	3 6	8 0	1 6 7

(2) 授賞件数

区 分	小 学 校	中 学 校	高等学校	計
児童・生徒	2 0	1 5	3 0	6 5
学 校	1	0	1	2
教 員	2	0	3	5
計	2 3	1 5	3 4	7 2

第35回山崎賞選考委員

区 分	氏 名	職 名	所 属
委員長	鈴木 真人	校長	県立浜松湖東高等学校
副委員長	松井 亮	校長	県立島田高等学校
〃	白井 久雄	校長	菊川市立内田小学校
〃	池田 勝俊	校長	富士宮市立上野中学校
委員	加藤 文人	副校長	県立浜松湖東高等学校
〃	山田 英明	教頭	湖西市立鷺津小学校
〃	松下 浩隆	教頭	浜松市立東部中学校
〃	岡野 哲也	教育主幹	県教育委員会高校教育課
〃	鈴木 真一	教育主幹	県総合教育センター
〃	佐田 恵子	教育主幹	県総合教育センター
〃	藤原 僚	教育主査	県総合教育センター
〃	北川 治	指導主事	静西教育事務所
〃	望月 重宏	指導主事	静岡市教育委員会教育センター
〃	井島 健蔵	指導主事	浜松市教育委員会学校教育部指導課
〃	石代 晃司	教諭	県立科学技術高等学校
〃	剣持 茂樹	教諭	県立静岡農業高等学校
〃	池谷 志織	教諭	伊東市立宇佐見小学校
〃	澤村 佐知子	教諭	吉田町立中央小学校
〃	川野 由多佳	教諭	磐田市立竜洋西小学校
〃	高橋 史明	教諭	東伊豆町立稲取中学校
〃	油井 和哉	教諭	菊川市立岳洋中学校
〃	中村 啓太郎	教諭	浜松市立新津中学校

公益財団法人

山崎自然科学教育振興会役員

役名	氏名	現職・元職名
評議員	藤野勝裕	元TDK(株)取締役BG, GM
評議員	山崎善道	近江産業(株)取締役社長
評議員	西原茂樹	前牧之原市長
評議員	鈴掛純也	元駿府博物館館長
評議員	鈴木善彦	元静岡県教育長
評議員	増田俊彦	元静岡科学館館長
評議員	草谷桂子	元静岡県職員 児童文学作家
代表理事	熊野善介	静岡大学教授
理事	赤塚千秀	元観山中学校校長
理事	大石尚夫	元富士宮西高等学校校長
理事	横澤幸仁	常葉大学非常勤講師
理事	松浦眞一郎	元長田東小学校校長
理事	河西哲郎	元藤枝東高等学校校長
理事	安倍徹	前静岡県教育長
理事	鈴木三喜	前三島北高等学校校長
理事	永田研	常葉大学特任准教授
監事	中澤俊和	元沼津西高等学校校長
監事	鎌田英巳	高PTA連合会事務局職員

公益財団法人

山崎自然科学教育振興会事務局

役名	氏名	元職名
事務局長	野村豊道	元牧之原市職員
事務局次長 兼会計担当	小泉正昭	元TDK(株)社員

公益財団法人 山崎自然科学教育振興会のあらまし



財団創立者 山崎貞一

1. 設立の経緯

山崎貞一TDK株式会社第2代社長(牧之原市出身)は、少年少女の科学する心の芽生えを育てることを願い、昭和58年私財を投じて「財団法人山崎自然科学教育振興会」を設立した。現在は、財団の名称を「公益財団法人山崎自然科学教育振興会」と変更し活動が続いている。初代の理事長は実弟の元静岡県議会議員 山崎勝二氏です。

2. 財団の事業

1. 顕彰事業 (成果を重視して表彰する山崎賞)
2. 助成事業 (研究する意欲を援助する助成金)
3. 啓発事業 (科学教室の開催、講師派遣、講演会・研修会支援)

3. これまでの実績

1. 顕彰事業 (山崎賞) 1～35回

児童・生徒	1,459件	学校	142件	教員	206件
副賞金額			97,460,000円		

2. 助成事業 (研究助成) 1～32回

児童・生徒	484件	学校	189件	教員	170件
助成金金額			90,347,000円		

3. 啓発事業 (平成30年度)

科学教室 (三島市、焼津市、牧之原市、浜松市)

講師派遣 (静岡市、島田市(2)、掛川市(2))

講演会・研修会 (静岡市(2)、藤枝市)

〒421-0595 静岡県牧之原市女神3-1-1
TDK(株)静岡工場内

公益財団法人 **山崎自然科学教育振興会**

TEL <0548> 54-0211(代)